



平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月26日

上場取引所 東

上場会社名 日本化薬株式会社

コード番号 4272 URL <http://www.nipponkayaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 萬代 晃

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 グループ経理本部経理部長 (氏名) 下山 政行

TEL 03-3237-5270

四半期報告書提出予定日 平成24年1月12日

配当支払開始予定日

平成24年2月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	73,452	△0.6	10,005	△5.3	9,976	0.5	5,450	13.3
23年5月期第2四半期	73,907	6.2	10,566	43.7	9,927	45.8	4,809	30.6

(注) 包括利益 24年5月期第2四半期 4,293百万円 (△0.9%) 23年5月期第2四半期 4,333百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	30.06	30.02
23年5月期第2四半期	26.51	26.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第2四半期	202,496	138,180	64.1
23年5月期	205,110	135,796	62.3

(参考) 自己資本 24年5月期第2四半期 129,820百万円 23年5月期 127,752百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年5月期	—	10.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	2.8	20,500	△1.6	20,500	1.1	11,000	△15.4	60.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年5月期2Q	182,503,570 株	23年5月期	182,503,570 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年5月期2Q	1,200,802 株	23年5月期	1,182,975 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年5月期2Q	181,311,071 株	23年5月期2Q	181,404,511 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成23年6月30日に公表しました平成24年5月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年6月1日から平成23年11月30日まで)のわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から回復しつつあるものの、欧州債務危機や円高の定着など先行きが不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは3ヵ年からなる中期事業計画Phase Iに沿って、重点事業への経営資源の最適配分、海外展開の強化に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンの推進、販売品目の整理等に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、機能化学品事業が半導体・電子機器材料関係の需要減のため前年同四半期を下回ったことなどにより、734億5千2百万円と前年同四半期に比べ4億5千4百万円(0.6%)減少しました。

営業利益は、機能化学品事業の売上高の減少と医薬事業の研究開発費が増加したことにより、100億5百万円と前年同四半期に比べ5億6千万円(5.3%)減少しました。

経常利益は、前年同四半期に比べ営業外費用が減少したことにより、99億7千6百万円と前年同四半期に比べ4千8百万円(0.5%)増加しました。

四半期純利益は、54億5千万円と前年同四半期に比べ6億4千1百万円(13.3%)増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

【機能化学品事業】

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂並びに紫外線硬化樹脂が顧客生産調整の影響を受け前年同四半期を下回り、機能性材料事業全体でも前年同四半期を下回りました。

電子情報材料事業は、インクジェットプリンター用色素が前年同四半期を上回りましたが、光ディスク用樹脂が前年同四半期を下回りました。ポラテクノグループは車載用LCDパネル向けの温度追従型楕円偏光フィルムが好調に推移したため前年同四半期を上回りました。電子情報材料事業全体では前年同四半期を下回りました。

触媒事業は、メタクリル酸製造用触媒が好調に推移し、前年同四半期を上回りました。

色材事業は、前年同四半期並みに推移しました。

この結果、売上高は346億2千7百万円(前年同四半期比3.4%減)、セグメント利益は58億6千5百万円(前年同四半期比4.9%減)となりました。

【医薬事業】

国内向け製剤の抗がん剤は、「ピカルタミド錠NK」、「パクリタキセル注NK」、「カルボプラチン点滴注液NK」が堅調に推移し、前年同四半期を上回りました。一方、「ランダ注」等が競合品等の影響により、前年同四半期を下回りました。国内向け製剤全体では前年同四半期を上回りました。

輸出は、ブレオ類(抗がん剤)が好調に推移し、輸出全体では前年同四半期を上回りました。

連結子会社は、前年同四半期を下回りました。

国内向け原薬は、医薬品原料が前年同四半期を下回り、国内向け原薬全体では前年同四半期を下回りました。

診断薬は前年同四半期を上回りました。

この結果、売上高は247億6千4百万円(前年同四半期比0.4%減)、セグメント利益は49億7千6百万円(前年同四半期比4.4%減)となりました。

【セイフティシステムズ事業】

東日本大震災の影響を受け、日本だけでなく中国・北米などの市場でも当社製品への需要が落ち込みましたが、夏場以降、日系自動車メーカーの挽回生産により需要が回復し、販売が増加しました。エアバッグ用インフレーター及びシートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレーターともに前年同四半期を上回りました。

この結果、売上高は98億7千1百万円(前年同四半期比5.8%増)、セグメント利益は10億5千万円(前年同四半期比43.3%増)となりました。

【その他】

アグロ事業は、国内は前年同四半期を下回ったものの、輸出は前年同四半期を上回り、事業全体では前年同四半期を上回りました。

不動産事業他は前年同四半期を下回りました。

この結果、売上高は41億8千9百万円(前年同四半期比8.2%増)、セグメント利益は8億9千8百万円(前年同四半期比8.4%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,024億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億1千4百万円減少しました。主な減少は受取手形及び売掛金5億8千8百万円、有価証券52億9百万円であり、主な増加は現金及び預金11億8百万円、棚卸資産14億1千6百万円、無形固定資産9億6千3百万円であります。

負債は643億1千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億9千7百万円減少しました。主な減少は借入金44億4百万円、支払手形及び買掛金11億2千1百万円であり、主な増加は未払法人税19億3千8百万円であります。

純資産は1,381億8千万円となり、前連結会計年度末に比べ23億8千3百万円増加しました。主な増加は四半期純利益54億5千万円であり、主な減少は配当金の支払18億1千3百万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、97億1千1百万円の収入（前年同四半期は81億5百万円の収入）となりました。これは主に、法人税の支払額が16億7千4百万円、たな卸資産の増加額が17億9千1百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が94億8千4百万円、減価償却費が45億9千8百万円あったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、73億1千2百万円の支出（前年同四半期は34億6千7百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が48億5千5百万円、無形固定資産の取得による支出が15億5千1百万円あったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、65億7千2百万円の支出（前年同四半期は54億9千4百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が30億3千2百万円、配当金の支払が18億5百万円、短期借入金の純増減額が11億4千9百万円減少したことによるものです。

以上の結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ45億7千2百万円減少し、367億3千2百万円（前年同四半期は345億3千万円）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の当社グループを取り巻く経営環境は東日本大震災の影響による厳しい状況から回復する動きがあるものの、円高定着による国内企業への悪影響や金融不安などによる世界的な景気の減速懸念で依然として先行きが不透明な状況が続くものと思われまます。当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な収益体質を構築するとともに、環境・省エネルギー関連材料や医薬バイオシミラーの研究開発の促進など新たな成長市場への展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、第3四半期以降の為替レートは、1米ドル77円を想定しています。

通期の業績予想の修正に関する事項は、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。なお、これによる潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額への影響はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

1 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,427	19,535
受取手形及び売掛金	46,945	46,357
有価証券	22,998	17,788
商品及び製品	15,515	17,237
仕掛品	2,088	2,354
原材料及び貯蔵品	7,043	6,471
その他	10,150	10,262
貸倒引当金	△36	△28
流動資産合計	123,132	119,979
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,372	31,079
機械装置及び運搬具(純額)	14,632	14,383
その他(純額)	14,548	15,244
有形固定資産合計	60,553	60,707
無形固定資産		
のれん	1,423	1,866
その他	2,248	2,769
無形固定資産合計	3,671	4,635
投資その他の資産		
投資有価証券	13,323	12,917
その他	4,216	4,118
貸倒引当金	△88	△88
投資その他の資産合計	17,451	16,947
固定資産合計	81,676	82,289
繰延資産	301	226
資産合計	205,110	202,496
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,262	13,140
短期借入金	10,917	9,040
未払法人税等	1,633	3,571
その他	14,080	13,962
流動負債合計	40,893	39,714
固定負債		
長期借入金	11,143	8,615
退職給付引当金	3,421	2,747
負ののれん	490	414
その他	13,364	12,822
固定負債合計	28,419	24,600
負債合計	69,313	64,315

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,265	17,265
利益剰余金	97,990	101,627
自己株式	△797	△811
株主資本合計	129,391	133,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131	△8
為替換算調整勘定	△1,769	△3,186
その他の包括利益累計額合計	△1,638	△3,194
少数株主持分	8,044	8,360
純資産合計	135,796	138,180
負債純資産合計	205,110	202,496

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	73,907	73,452
売上原価	43,997	42,353
売上総利益	29,910	31,099
販売費及び一般管理費	19,343	21,093
営業利益	10,566	10,005
営業外収益		
受取利息	51	41
受取配当金	198	205
負ののれん償却額	76	76
持分法による投資利益	101	100
その他	716	505
営業外収益合計	1,144	929
営業外費用		
支払利息	185	160
為替差損	1,321	544
その他	276	253
営業外費用合計	1,783	958
経常利益	9,927	9,976
特別利益		
固定資産売却益	8	8
特別利益合計	8	8
特別損失		
固定資産処分損	274	207
投資有価証券評価損	676	293
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68	—
特別損失合計	1,018	500
税金等調整前四半期純利益	8,918	9,484
法人税、住民税及び事業税	3,172	3,703
法人税等調整額	525	△233
法人税等合計	3,698	3,470
少数株主損益調整前四半期純利益	5,219	6,014
少数株主利益	410	563
四半期純利益	4,809	5,450

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,219	6,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	103	△139
為替換算調整勘定	△989	△1,580
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△886	△1,720
四半期包括利益	4,333	4,293
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,127	3,894
少数株主に係る四半期包括利益	205	399

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,918	9,484
減価償却費	4,283	4,598
引当金の増減額(△は減少)	△1,007	△790
受取利息及び受取配当金	△250	△247
支払利息	185	160
持分法による投資損益(△は益)	△101	△100
有形固定資産売却損益(△は益)	△8	△8
有形固定資産処分損益(△は益)	274	207
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△2	—
投資有価証券評価損益(△は益)	676	293
売上債権の増減額(△は増加)	△995	71
たな卸資産の増減額(△は増加)	△516	△1,791
前払費用の増減額(△は増加)	34	△47
未収入金の増減額(△は増加)	191	532
前渡金の増減額(△は増加)	△2,509	138
仕入債務の増減額(△は減少)	538	△782
未払金の増減額(△は減少)	△358	△280
未払費用の増減額(△は減少)	△334	△241
その他	720	68
小計	9,805	11,264
利息及び配当金の受取額	281	247
利息の支払額	△184	△161
法人税等の支払額	△1,804	△1,674
法人税等の還付額	7	35
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,105	9,711
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△11
定期預金の払戻による収入	0	36
有形固定資産の取得による支出	△3,128	△4,855
有形固定資産の売却による収入	18	5
無形固定資産の取得による支出	△253	△1,551
有価証券の取得による支出	△1,998	△503
有価証券の償還による収入	1,998	—
投資有価証券の売却による収入	12	—
長期貸付けによる支出	—	△2
長期前払費用の取得による支出	△31	△576
固定資産撤去に伴う支出	△284	△204
子会社株式の取得による支出	—	△19
短期貸付金の増減額(△は増加)	86	71
その他	112	297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,467	△7,312

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△173	△1,149
長期借入金の返済による支出	△2,881	△3,032
建設協力金の返済による支出	△492	△473
配当金の支払額	△1,806	△1,805
少数株主への配当金の支払額	△98	△99
その他	△41	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,494	△6,572
現金及び現金同等物に係る換算差額	△425	△398
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,282	△4,572
現金及び現金同等物の期首残高	35,813	41,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,530	36,732

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成22年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフテ イシステ ムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	35,846	24,861	9,326	70,035	3,872	73,907	—	73,907
セグメント間の内部売上 高又は振替高	12	14	—	27	13	41	△41	—
計	35,859	24,876	9,326	70,063	3,885	73,949	△41	73,907
セグメント利益	6,165	5,206	733	12,105	981	13,087	△2,520	10,566

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

(注)2 セグメント利益の調整額△2,520百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,513百万円、セグメント間取引消去△7百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学品 事業	医薬事業	セイフテ イシステ ムズ事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	34,627	24,764	9,871	69,263	4,189	73,452	—	73,452
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	0	—	8	14	22	△22	—
計	34,635	24,764	9,871	69,272	4,203	73,475	△22	73,452
セグメント利益	5,865	4,976	1,050	11,892	898	12,790	△2,785	10,005

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

(注)2 セグメント利益の調整額△2,785百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,778百万円、セグメント間取引消去△6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注)3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。